大隈重信記念館だより

第４２号　令和７年６月発行

大隈重信記念館　佐賀市水ヶ江 2-11-11
TEL･FAX:0952－23－2891
http://www.okuma-museum.jp

第45回大隈祭を、5月11日（日）盛大に開催しました。今年は新緑の季節の中、市内外から約300名の来場者がありました。来場者お一人お一人のひたむきな取組みが、大隈祭をさらに思い出深いものとしました。

大隈重信侯の志が地域や世代を超えて受け継がれていることを実感できました。皆様の熱意によって終始活気に満ちた大隈祭となりました。このことに感謝いたしますとともに、今後も、大隈侯の功績を更に、広く伝える所存です。

オープニングは北原香菜子氏による薩摩琵琶鶴田流の演奏
題目　東京専門学校（現・早稲田大学）創設への思い

本年度も、多くの方々とともに、美しい薩摩琵琶の音色にのって大隈侯の精神を分かち合う機会に恵まれました。

演奏が始まった瞬間、まるで大隈侯の精神が音楽に宿ったような空気が会場をつつみました。

東京専門学校（現・早稲田大学）の創設に込められた教育への理念や、志ある人物を育てたいという大隈侯の熱意が伝わってきました。

大隈侯の偉大な見識を感じた演奏でもありました。

早稲田大学応援部と早稲田佐賀中学校・高等学校吹奏楽部による、早稲田大学校歌と応援歌の披露

記念講演　「大隈重信と女子教育」

早稲田大学歴史館　袁　甲幸（エン　ジャーシン）　先生

開会式では、坂井市長が主催者を代表して挨拶を行い、続けて山口県知事、原口衆議院議員から祝辞をいただきました。次に、大隈重信スピーチコンテスト入賞者3名の中高生により、大隈侯から学んだことに関する発表がありました。深い洞察力のある発言には、来場者が真剣に耳を傾けていました。

記念講演では、袁（エン）先生が、大隈侯が明治時代から女子教育の重要性を説いていたことを紹介されました。建築学を学んだあとに、文学を学ばれた袁先生は、日本近代史を専攻されています。「女性は男性と同等の教育を受けるべきである」とする大隈侯の主張などを広い視点でかつ緻密な分析で講演されました。

式典の終了後には、赤松面浮立伝承会や佐賀大学教育学部附属小学校による合唱や金管バンドが行われました。 続いて、早稲田大学校歌と応援歌が披露され、会場全体が一体となりました。

最後に館長の山口が参加者へ謝意を申し上げ、式は閉会となりました。

未来につなぐ大隈精神

Bridging Okuma’s Spirit to the Future

館長のひとこと

大阪・関西万博が開かれていますが、明治政府として初めて出展したのは、明治６年のウイーン万博です。
当時、現地で実際に指揮をした副総裁の佐野常民から総裁の大隈重信へ宛てた報告の手紙があります。令和8年の企画展では、この手紙を紹介することを計画しています。

今後の予定

特別企画展　令和８年２月～３月 開催
「佐賀が生んだ偉人　佐野常民と大隈重信」
その他、かるた大会、スケッチ大会など
ご不明な点は、記念館までお気軽にお問い合わせください。

問い合わせ先
Tel 0952-23-2891
(大隈重信記念館)

【琵琶で聴く、大隈重信ものがたり】
開催中　毎月　第二土曜日　（６月のみ２８日（土））
１４：００～１４：２０　受付１３：３０より
場所　大隈重信記念館1階ライブラリー
(佐賀市水ケ江２-１１-１１)
料金５００円（生家・記念館の見学料含む）

まきの会
ボランティア募集

新規会員を募集中です。毎月第3水曜日は、午前中に定例会を行っています。
生家で行う、まきの会のオリジナル紙芝居の上演は内容も分かりやすく好評です。
みなさまも、まきの会に参加してみませんか。

問い合わせ先
Tel 0952-23-2891
(大隈重信記念館)

地域の方々の紹介

踊り	赤松面浮立伝承会
合唱	佐賀大学教育学部附属小学校合唱部
金管バンド	佐賀大学教育学部附属小学校金管バンド
小学校連携	佐賀市立赤松小学校

職員のひとこと

新しく入りました学芸員の野口と受付の野中と申します。よく似た名前なので間違えらえることも多いのですが、それだけ縁が深いのかもしれません。（笑）
不十分な点がありますが、どうぞ宜しくお願いします。

大隈重信記念館だより　第42号　令和7年６月発行
大隈重信記念館　佐賀市水ケ江2-11-11　TEL・FAX　0952-23-2891　https://www.okuma-museum.jp